
高齢者事故ゼロを目指して

～平成24年度高齢者交通安全県民運動が始まります～

来る11月21日（水）から30日（金）までの間、「高齢者交通安全県民運動2012」が実施されます。この運動は、徳島県交通安全対策協議会（会長 飯泉嘉門）が、高齢者の交通事故を防止するため、各市町村や関係機関・団体等に呼びかけ、幅広い県民運動として展開するものです。

※ 県老人クラブ連合会においても運動期間にあわせ、30日（金）に「高齢者自転車安全運転競技大会」（場所：千松自動車教習所）の実施を予定しています。

現在、徳島県下で高齢者の重大事故が多発し、11月8日時点の交通事故死者数は25名で、そのうちの約6割（15人）を高齢者が占めています。特に高齢者の交通事故で多いのは、

- 夕暮れ時などの薄暮時間帯の事故
- 道路横断中の事故
- 交差点の出会い頭事故
- 自転車運転中の事故

となっています。

こうしたことから、本運動では高齢者に対し、歩行中の正しい通行や安全確認の徹底、夕暮れ時や夜間の外出の際の反射材等の装着、運転者には高齢者に配慮した運転や早めのライト点灯、全席シートベルト着用などが呼びかけられます。また地域ぐるみ（老人クラブなど）や家庭ぐるみ、職場での交通安全意識の啓発も重要とされています。

高齢者の交通事故ゼロを目指して、皆さまのご協力をお願いします。

☆交通標語

「ありがとう 孫から教わる 交通ルール」

「お年寄りが 自ら示そう 交通安全」

